

令和元年 7月 11日
公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構
令和元年度全国高等学校総合体育大会
鹿児島県高校生活動推進委員会

令和元年度全国高校総体（インターハイ）鹿児島県高校生活動における
「スポーツの価値」を発信するプロジェクト「作文コンクール」表彰について

この度、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構（以下、JADA）と令和元年度全国高等学校総合体育大会鹿児島県高校生活動推進委員会と連携し、鹿児島県高校生活動^{*}において実施している、「スポーツの価値」を発信するプロジェクトの一環として、「スポーツの価値」をテーマとした作文コンクールを実施しました。

鹿児島県高校生活動推進委員が所属する学校から 443 点の応募があり、以下の通り、最優秀賞 1 点、優秀賞 2 点が決まり、各校にて表彰されました。

最優秀賞

- 久木崎 かりん（鹿児島県立加治木高等学校） 「私にとってのスポーツの価値」

優秀賞

- 光司 武徳（鹿児島県立鶴丸高等学校） 「スポーツの価値とは」
- 谷村 杏樹（鹿児島県立大島高等学校） 「頑張れば感動」

[表彰の様子]



本プロジェクトは、JADA「スポーツの価値を基盤とした教育（スポーツ庁委託事業）^{*}」の一環として実施したもので、インターハイを通してスポーツを「する」、「みる」、「支える」という観点からスポーツの価値を考え、その価値を高校生が自身の言葉で表現し、発信。そして、高校生が互いのスポーツの価値を尊重し、共創的な観点を持つことでスポーツにより大きな感動を生み出すという学びにつなげることを目的としています。

^{*}スポーツの価値を基盤とした教育（スポーツ庁委託事業）

2013 年より、高等学校学習指導要領の保健体育編に「オリンピックムーブメントとドーピング」の項目が明記されたことを背景に、アスリートだけでなく、すべての高校生を対象に「スポーツの価値」を基盤としたアンチ・ドーピング教育が実施されています。当該教育推進、支援のため、日本アンチ・ドーピング機構では指導案や教材の提案、モデル校との意見交換、ワークショップの開催を行っています。

高校総体との連携は、南東北総体 2017 にて初めて行い、本年度大会は 2 回目の連携となります。

- スポーツの価値を基盤とした教育特設サイト
<https://www.school.playtruejapan.org/>
- 南東北総体 2017 との連携
<https://www.school.playtruejapan.org/report/767>

< 本件問合せ先 >
公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構
担当：佐藤
電話：03-5963-5708